

Contents

- 02 特集①高モニ会議
- 06 特集②平成31年度予算
- 08 3月定例会議案審議
- 11 常任委員会報告
- 13 代表質問
- 16 一般質問／市の考えを問う
- 22 会派構成変更／広域行政組合議会
- 23 病院組合議会
- 24 あなたとつなぐ・市議会議員紹介 Vol.4

あなたとつなぐ

甲賀 市議会だより

KOKA city assembly report

令和元年(2019)05.01

vol.58

特集

議会だよりダイヘンシン

作戦会議はじめます。高モニ会議

市議会だよりを編集していて、いつも悩むのが「どうすれば若い世代に情報が届くのだろう…」
「どんな紙面なら読みたくなるのだろう？」
ということ。
そこで自由な発想とするどい感性から、アイデアをもらいたい！
との思いで、市内の高校に通学するみなさんに、
ご意見をいただくため
高校生モニター会議(通称・高モ二会議)を開催しました。

高モ二会議

はじめます。

作戦会議

議会だよりダイヘンシン

信楽高校のみなさん



信楽高校生徒会の活動紹介

執行部 全9名

生徒会のお仕事

- 毎週水・金の朝のあいさつ運動
- 年1回道路のゴミ拾い
- 行事の放送係
- 体育祭の運営

頑張りますね！



議会だよりダイヘンシン「高モ二会議」に参加してくださ〜い!!
の声に早速、手をあげてくださったのは、まずは信楽高校と水口高校！
3月8日と22日に広報担当の議員がおうかがいさせていただきました。
今回はその高モ二会議の様態をご紹介します。

Q 議会だよりを見ないのはなぜ？

A 新聞を家で取ってない。



が〜ん
新聞折込なのに！

新聞の内容も難しい
ゴミ出しがめんどろっ



Q 情報は何でとってるの？

A テレビニュース
スマホのネットニュース
LINE、ツイッター
ヤフー、グーグル など

みんなの意見を聞いてみよう
テーマ

議員と議会だよりの中身がリンクしてない
言葉がわかりにくい
色はカラーじゃなくてもいい
表紙の写真は公募してみたら
ネットで開く時内容でリンクしてほしい
議員の顔写真が前の方のページにあったらいい
手に取る機会がないコンビニに置いてあったらいいのに
ネットで1ページずつ見れるようにしてほしい

議会だより どんなのがいい？

文章短くイラスト多く吹き出しとか
バラバラになるホッチキスで留めて
Wi-Fiのない所で市議会だよりを見るのにパケット料がかかる
1つ1つの項目が分かるようにしてほしい
一般質問の説明がほしい
目次が見にくい

アンケート結果

信楽高生・水口高生18人に聞きました。

市議会のことについて

- ✓ どんな議員がいるか 知っている4人 / 知らない13人
- ✓ いつ議会が行われているか 知っている0人 / 知らない18人
- ✓ 市議会の議場がどこにあるか 知っている7人 / 知らない11人

市議会だよりについて

✓ 知らなかった 18人

どんなメディアから情報を得ていますか？

新聞	2	フリーペーパー	0
テレビ	14	インターネット	6
ラジオ	0	SNS	16
雑誌	1	その他	0

SNSで使っているものは？

LINE	18	フェイスブック	0
インスタグラム	13	ツイッター	16
その他	0		

ちょっときいてよ
私たちの声

通学路

- おばあちゃんの押し車のタイヤが引つかかるほど信楽川沿いのタイルの歩道が山型になってしまっている。
- 元信楽交番付近の道がデコボコしてる。
- 街灯が少ない。街灯が点くのが遅い。
- 駅までの道が暗い。
- 歩道が細くて、電柱のある所は傘もさせない。
- 高校の前の道が車やトラックが多い。でも横断歩道もない。
- 幼稚園児が飛び出すことが多い。
- スクールゾーンの表示があつたらいいのに。

交通

信楽高原鐵道

- 朝と夕方の本数を増やしてほしい。
- 障がい者の方の切符は半額なのに、定期は一般のしか買えない。
- 定期を貴生川駅で買えるようにしてほしい。

バス

- 便数を増やしてほしい。
- 貴生川駅まで行く便を作してほしい。

観光

- 信楽の歴史を感じるような建物があつたらいいな。
- 外国人との文化の差をうめるような取り組み。ストレスを感じないようにしてほしい。

高モ二会議

水口高校のみなさん

ステキな笑顔と
たくさんのアイデアを
ありがとう



ページ数が多く読みづらい

4コマまんがで説明があると分かりやすい

QRコードは良いと思う

何色も使わずともよいのでは

議会を見学する機会をつくれれば興味もでるのでは

写真だけでなくイラストがあると手にとりやすい

市議会だよりに ひとこと

3つのグループに分かれて
意見を出し合い、
模造紙にまとめて
発表していただきました。

文字が多いとすべて読もうと思わない

一般市民の声を
もっと載せては

単語がむずかしい
ふりがなをつけて

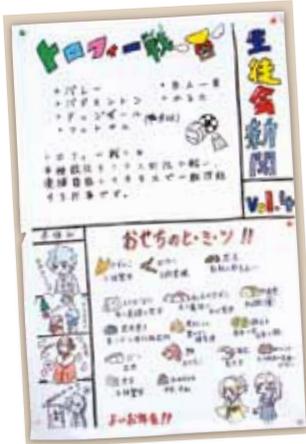
珍しい店の紹介なども取り入れては

学校で配布したり設置すれば
学生が読む機会が増える

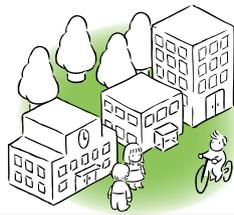
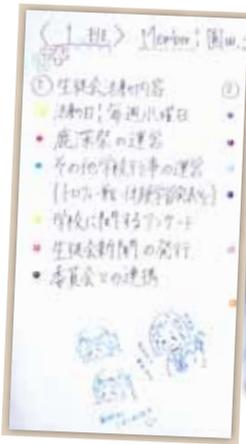
せっかくの図やグラフが小さく
分かりにくい

文字は大きい方がよい





生徒会新聞



- 市民と議員の交流活動を行う。
- 地域を良くするため、スーパーや駅の前で、市民に地域への要望のアンケートをとってはどうか。
- 水口駅、水口城南駅の駐輪場を増やしてほしい。
- 部活帰りの安全のため、防犯灯を増やしてほしい。
- 自転車の道路を作ってほしい。
- 歩道がない道路に歩道をつけてほしい。

ちよつときいでよ

私たちの声



アンケートより(自由記述)

市議会の方との交流は、とても貴重な経験となった。これから先、選挙に関わっていくことになるが、今回の経験を忘れずにいたい。

こういう機会があると課題を解決しようとする力がつくと思う。議会だよりについても興味を持てた。

ここまで地域について真剣に話したのは初めてで、とても楽しかった。議員さんと直接お話しでき貴重な体験だった。

私たち学生と、市議会の方が意見交流することで、よりよいまちづくりに貢献できれば良いと思った。

議員の方が、地域を良くするためにたくさんの事をされているのを今まで知らなかった。とても勉強になった。

周りを含め、住んでいる地域について、知っていることが少ないと感じた。ひとりひとりが地域を好きになれば、どんどんよくなると思う。

信楽高校
水口高校の
高モ二会議を終えて

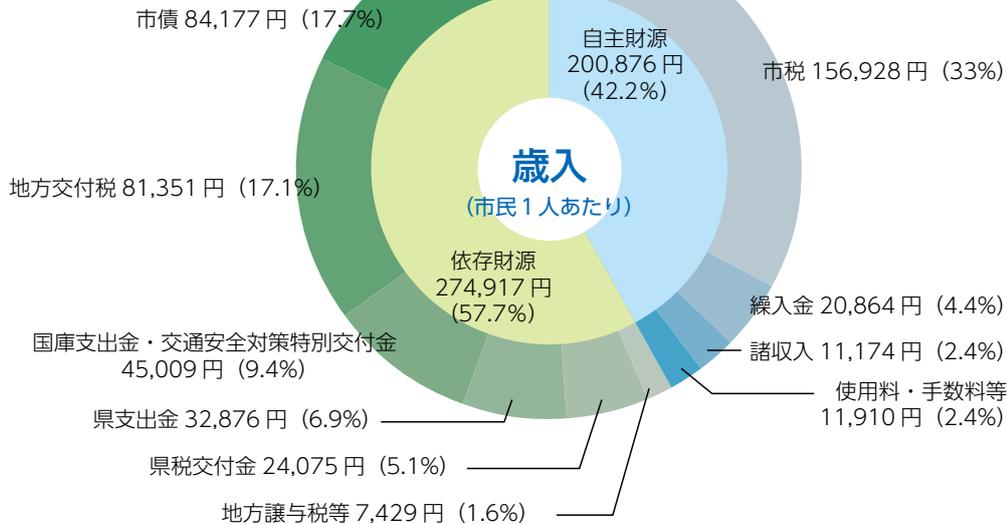
高校生を対象にした高モ二会議は活発に、それでいて和やかな雰囲気で開催できました。ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。色々なご意見をいただき、刺激を受けました。

さらに開催後のアンケートでは「このような機会が増えたらいいな。意見が反映されて議会だよりがより良いものになるといい」という嬉しい声も。高校生の皆さんの思いに込えられるよう、ひとつでもたくさんのアイデアを紙面に反映させていきたいと思えます。また高モ二ター会議に行かせていただきますのでよろしくお願ひします。

予算決算常任委員会

市制施行後最大432億 8 千万円

47万 5,793円



平成31年度一般会計予算は対前年比16・3%、60億5千万円増となっています。
予算決算常任委員会では、付託された新年度一般会計予算について、5日間にわたり審査を行いました。

オール甲賀で未来につなぐ深化予算

各委員からは新年度予算が市民のニーズに答えられているか、また有効な策となっているのかどうか、という視点から、議員全員が積極的に質疑を行い深めました。主な質疑は次のとおりです。

総合政策部所管

あいコムこうかの不要資産撤去の補助や「広報こうか」が新年度から月一回発行となることについて質疑がありました。

総務部所管

AI会議録作成の効果、人事給与システムのアウトソーシング、市職員の出勤・時間外労働・研修・休暇・懲戒処分の実態、また小学生の広島平和記念式典への派遣、甲南第一地域市民センターの



改修予定の甲南第一地域市民センター

改修、入札における市内業者の受注状況などについて質疑がありました。

市民環境部所管

市民課窓口での諸証明交付状況、防犯灯の管理区分、子育て応援医療、消費者生活相談、人権対策と就労相談、生ごみ堆肥化事業、住民基本台帳の閲覧状況、不法投棄、甲賀斎苑、改良住宅など、多岐に渡る質疑がありました。

上下水道部所管

汚水処理施設整備構想に基づく合併浄化槽の促進について、当初の信楽町全域の公共下水道との整合性についての意見がありました。

健康福祉部所管

災害時要支援者名簿の作成と取り扱い、学習支援事業、生活保護、障がい者就労支援部会での不適正な支出問題、医療的ケア児童生徒通学支援事業、福祉バス運行、医療政策ビジョン、健康寿命を延ばそう事業、新規事業の一般不妊治療助成の内容、社会福祉協議会への委託など、多方面にわたって質疑がありました。

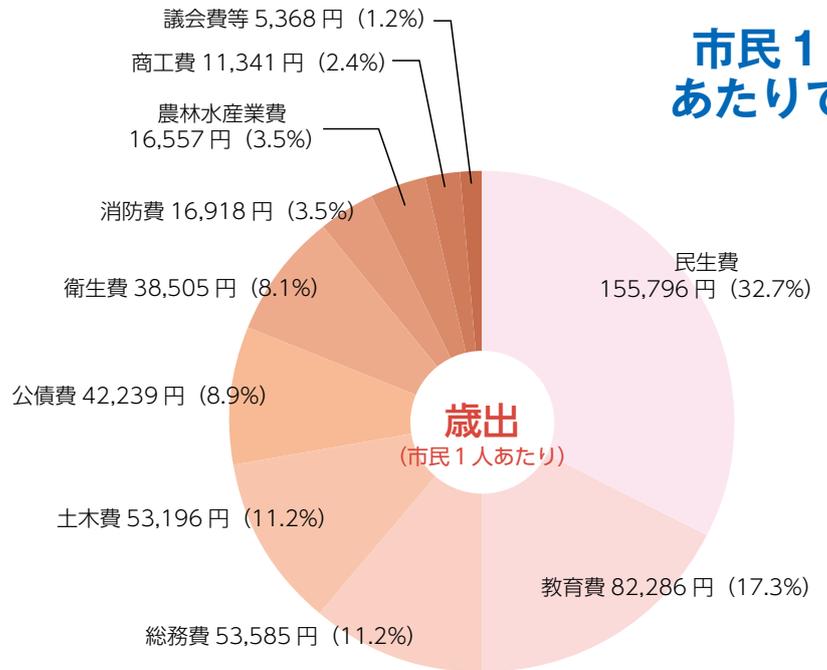
こども政策部所管

新規事業のプレイパーク整備推

予算決算常任委員会

平成31年度一般会計予算

市民1人あたりでは



賛成多数で可決

反対討論

予算総額が過去最大になった特徴は、合併特例債事業が集中していること。そのことが財政を圧迫し生活関連予算にもしわ寄せが懸念される。税金の使い方では、あいコムこうかに対し、本来は貸付で対応すべきなのに3年間で総額

1億3640万を補助することは問題。県立信楽窯業試験場移転用地確保のために市が基金で先行取得するのは問題であり、予算審査の前提となる取得土地の鑑定評価額を公表しないことも問題。その一方で敬老祝い金の削減、小学一年生の黄色い傘が削られたことも明らかになった。よって反対。

賛成討論

新年度予算は「オール甲賀で未来につなぐ深化予算」として、子育て・教育では、プレイパーク整備、水口地域公立保育園、伴谷幼稚園と伴谷保育園、水口東と岩上保育園、西部学校給食センターなどの施設整備。地域経済では、甲賀北工業団地、朝ドラのロケーション推進事業や全国植樹祭など。

進モデル事業・病児保育・保育園でのICT導入について、私立保育園に対する補助減額の要因、ニーズが高まる児童クラブ、保育の無償化と保育士確保などについて質疑がありました。

建設部所管
空き家対策、地域振興事業、コミバスとコミタク、甲賀北工業団地、市営住宅と民間家賃補助、貴生川駅周辺整備事業、市道の維持管理補修、市民交流駅の管理業務などについて質疑がありました。

産業経済部所管
観光DMOと甲賀市観光協会及び信楽町観光協会に対する支援策などをめぐり意見が集中しました。

教育委員会所管
中学生の自転車保険補助金、I



2020年4月操業予定の(仮称)西部学校給食センター

CT機器の導入と無線LANの整備工事、学校給食におけるアレルギー対応、信楽における学校給食の食器、不登校、就学援助金、グランドゴルフ場、公民館整備、ホストタウン事業、文化ホール舞台芸術制作業務委託などについて質疑がありました。

福祉・介護では、コミバス無料乗車券の対象年齢の引き下げ、甲賀・甲南地域から甲賀病院へのコミバス直通便など、全体として地域や市民の願いが反映され将来に向けた取り組みもしっかりと予算化されている。

執行にあたっては地域や関係者と十分な協議を行い、将来に向けての展望も見据えた上で対応するよう申し添え賛成。

3月定例会

委員会に付託し審査（意見書以外）

3月定例会は2月19日から3月25日までの35日間の日程で開催され、市長提案34件、意見書10件の計44議案を審議しました。

PICK UP 1

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

高度な専門的知識経験又は優れた識見を有する人材を任期を定めて一定期間採用できるようにするもの。

主な質疑

Q すぐに適用するものではないとのことだが、現在と何がどう変わるのか。

A 正規職員として業務に従事いただくことになる。政策立案も含め、提案や改革にまで踏み込めるのが大きな相違点である。

Q 長期的に見れば職員の専門的技術等が蓄積しにくくならないか。

A 採用でも、市の総合計画に基づいたまちづくりを長期的に進めるために、必要な人材を確保し、必要なスキルを身につけるために研修をしていく。しかし、社会情勢はめまぐるしく変化しており、現

在の職員が対応しきれない想定外の事態が出てきた場合に、専門的な人材のスキルを政策に反映する必要も出てくると考える。

反対討論

本来の公務員のあり方に関わる根本問題であり、職員がスキルアップし対応すべきこと。現実に対応しなればならない問題もない中で、早急に条例を制定するには無理がある。働き方改革から言うのであれば、職員組合等と協議すべきで、協議を終えてから検討すべきと思う。必要な時だけ2〜3年雇用するのは、非常に便宜的な職員の働かせ方である。行政側からすればよいが、働き手からしてどうなのかという疑問もある。

賛成討論

既にある任期付職員法に準じて

この条例を定めようとしている。提案理由にあるように複雑化・高度化する社会情勢に即時に対応し、市の活性化、将来像に向けてスピード感を持って対応できるよ

PICK UP 2

国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算総額を86億4200万円と定めるもの。

主な質疑

Q 納付金を上げるために国保税を上げなければならないことが起り得るのでは。

A 仕組みとして国保税で納付金を納めることになるが、県全体で、できるだけ医療費を抑えていく方向で考えている。

反対討論

国民健康保険は構造的な危機に陥っている。それを打開するためには県単位化という形で変更になった。構造的な問題として国保税が高い。大変な世帯が国保税を払えるように配慮ある対応をすべきで、その対応は市でもできることだということを示し添える。

うに、条例を制定しておくことは大事。また職員のスキルアップに繋がることも考えられる。

採決

賛成多数にて可決。

賛成討論

平成30年度から県単位での事業になったが、データヘルス計画に基づく保健衛生普及費、人間ドック補助費など疾病予防の観点からも大きな編成が考えられている。県と市町が共同の保険者としてより良い制度に発展していくことを望む。

採決

賛成多数にて可決。



滋賀県健康づくりキャラクター
しがのハグ&クミ

3月定例会

PICK UP 3

甲賀市民交流駅条例の一部を改正

JR甲南駅の新駅舎が完成し、5月11日に供用開始に。これに合わせて甲南新駅舎を「甲賀市民交流駅こうなん」と命名し、同条例に加える改正案が上程された。

市民交流駅はJR草津線の貴生川駅より東の新甲南駅、寺庄、甲賀、油日駅が該当し、貴生川駅から草津駅まではJR管理になるため、該当しない。今回の改正案自体は新駅舎の完成に伴うもので賛否の分かれる内容で討論はなかったが、市民にとって関心の高いJR草津線の現状がよくわかる議案だった。

主な質疑

Q 市民交流駅で、エレベータを設置したい場合はどうなるか。

A 設置の場合は基本的に市の負担。

採決 全員賛成にて可決。



完成間近の甲南駅

PICK UP 4

平成30年度一般会計補正予算(第6号)

国の補正予算に伴う事業を追加計上するほか、各種事業の決算見込みによる減額

などにより、歳入歳出にそれぞれ14億8018万8千円を増額するもの。

主な質疑

Q 市財政への影響は。

A 合併特例債は充当率95%で交付税措置が70%に対し、学校教育施設整備事業債は充当率100%で交付税措置が60%。今回の場合、約2100万円の負担増となる。

Q 公共施設等整備基金に7億8千円を積み立てる根拠は。

A 「甲賀病院移転新築整備事業の精算金や土地開発基金の条例改正に伴う収入等」を原資に積み立てるもので、歳入予算の同基金への積み戻し2億300万円とあわせて翌年度の取り崩し額である9億円を確保するもの。

採決 全員賛成にて可決。

PICK UP 5

契約

契約変更

信楽地域市民センター・信楽伝統産業会館等建設工事(建築主体工事)
変更増額 2161万6200円

契約の相手 三陽建設(株)
水口体育館新築工事
変更増額 1073万3040円

契約の相手 三陽建設(株)

契約締結

水口小学校大規模改造(2期)工事
契約金額 4億6947万6千円

契約の相手 大宝柘木(株)

希望ヶ丘小学校大規模改造(2期)・増築工事
契約金額 3億7800万円

契約の相手 (株)フジサワ建設
甲賀中学校大規模改造(2期)工事
契約金額 3億9127万3200円

契約の相手 (株)辻正

水口地域公立保育園新築工事
契約金額 8億5536万円

契約の相手 (株)フジサワ建設

採決 全員賛成にて可決。

審議結果・意見書

議案の審議結果

賛成多数で可決した議案	
平成31年度 当初予算	一般会計予算
	国民健康保険特別会計予算
	後期高齢者医療特別会計予算
	介護保険特別会計予算
制定 条例	一般職の任期付職員の採用等に関する条例

全員賛成で可決した議案	
平成31年度 当初予算	野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算
	病院事業会計予算
	水道事業会計予算
	診療所事業会計予算
	介護老人保健施設事業会計予算
	下水道事業会計予算
平成30年度 補正予算	一般会計補正予算（第6号）
	一般会計補正予算（第7号）
	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	介護保険特別会計補正予算（第3号）

全員賛成で可決した議案	
条例の一部改正	職員の自己啓発等休業に関する条例
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例
	市民交流駅条例
	水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例
廃止 条例の	社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
廃止 条例の	身体障害者生活支援センター条例
その他	新市建設計画の変更
	財産の処分（水口町山上）
	指定管理者の指定（野洲川児童公園）
	市道路線の廃止（しがらきニュータウン1号線）
	市道路線の認定（甲南町竜法師荒木線外1路線）
	契約の変更締結2件 信楽地域市民センター・信楽伝統産業会館等建設工事（建築主体工事） 水口体育館新築工事
	契約の締結4件 水口小学校、希望ヶ丘小学校、甲賀中学校大規模改造（2期）工事 水口地域公立保育園新築工事
	滋賀県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少および滋賀県市町村職員退職手当組合理約の変更

意見書・議決結果											
議案等の名称	提案者	討論		凛風会	志誠会	共産党	公明党	鷺飼	竹若	結果	
		反対	賛成								
辺野古新基地建設工事の中止を求める意見書	小西	里見	竹若岡田	●	○	○	●	●	○	否	
厚生労働省の統計不正の徹底解明を求める意見書	小西	田中將	山岡	○	●	○	●	●	○	否	
根底が崩れた消費税増税は中止することを求める意見書	岡田	田中喜	小西	●	●	○	●	●	○	否	
児童虐待死 悲劇を断ち切る真剣な対策を求める意見書	岡田	—	山岡	○	○	○	○	○	○	可	
学童保育の「従うべき基準」の参酌化に反対する意見書	山岡	糸目	小西	●	●	○	●	●	○	否	
幼児教育・保育の無償化に関する意見書	山岡	—	小西	○	●	○	●	●	○	可	
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書	山岡	田中新	岡田	●	●	○	●	●	○	否	
農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書	田中將	—	—	○	○	●	○	○	○	可	
妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書	堀	—	—	○	○	○	○	○	○	可	
食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書	白坂	—	—	○	○	○	○	○	○	可	

○：賛成 ●：反対

常任委員会 所管事務調査

総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理
等に関わる委員会です。

厚生文教常任委員会

市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

1月18日に委員会を開催し、所管事務調査1件、報告5件について執行部に資料の提出と説明を求め、質疑等を通して調査を行いました。

陶芸の森前私有地の取得について

市の方針

- 県の信楽窯業試験場を陶芸の森前に移転することは、県・市・産地にとって有益である。
- 市が陶芸の森前私有地を全筆取得し、それを県の試験場用地と等価交換する。



Q 県から新しい窯業試験場の建設にかかる私有地を正式に取得したいと申し出があったのか。

A 県との考え方の整合については、県と市で合意をしている。その中で文書的なものが必要になってくる場合には、それらの文書についても合意していく。

Q 県事業に市が率先しなければならぬ理由は。

A 現窯業試験場用地は、老朽化が著しい信楽にここに



取得する陶芸の森前私有地

園の移転先として活用を考えている。その代替地として、陶芸の森前私有地の上の段を交換するため土地を購入しようとするもの。残りの土地については駐車場と催事スペースとして有効に活用したい。

Q この土地は、宅地、山林、原野、保安林となっているが、それぞれの単価は。

A これだけの筆と種別があるが、一団の土地の単価である。用地審査会、公有財産取得委員会等で決められた上限を基に、地権者と関係者を含めた交渉にあたりたい。他に一般会計と土地開発基金での取得について。土地単価の根拠についてなどの質疑があった。

ICT先行導入校における活用状況等について

1月15日、2月1日に委員会を開催し、ICT先行導入校における活用状況や図書館サービス計画（第2次計画）案など各種計画について調査を行いました。

先行導入校(平成27年度から)

・伴谷東小学校

- 児童用タブレット 40台(H27)
- 教師用タブレット 8台(H29)
- 電子黒板 1台(H29)

・土山小学校

- 児童用タブレット 40台(H27)
- 教師用タブレット 7台(H29)
- 電子黒板 1台(H29)

・甲賀中学校

- 生徒用タブレット 40台(H27)
- 教師用タブレット 8台(H29)
- 電子黒板 2台(H29)

今後の方向性

- ・WiFi環境の整備
- ・ICT支援員の配置
- ・ICT活用、プログラミング教育推進委員会の設立
- ・ICT機器の整備(平成31年度)
- ・児童・生徒用タブレット (1台/5人)
- ・教師用タブレット(各校約7台)



児童・生徒5人に1台整備されるタブレット

今後の課題

- ・教師用タブレットの整備
- ・大型ディスプレイの整備

各種計画(案)について

- ・図書館サービス計画(第2次)
 - ・子ども読書活動推進計画(第3次)
 - ・自殺対策計画
- これらの計画についてはいずれもパブリックコメントを実施し、策定される予定となっています。

常任委員会 所管事務調査

産業建設常任委員会

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。

2月7日に委員会を開催し、所管事務調査として市道新町・貴生川幹線内貴橋整備工事、信楽大橋橋梁長寿命化修繕工事の現地調査、報告案件として、市道等の現状について信楽ニュータウンの市道等の現状（現地）、陶芸の森前私有地の取得（現地）、甲南駅橋上化工事の現状について調査及び報告を受けました。

内貴橋工事現場視察

現在架け替え工事の進む内貴橋を視察した。現在の内貴橋は昭和10年に架けられ、老朽化が進み、架け替えの工事が進められている。新しい橋は、橋脚を10本から4本に減らし、緩やかなアーチ形状を描きながら橋の高さを上げる設計になっている。これは、川のの流れを良くし、氾濫を防ぎ、また川の水位が上昇した時に道路の高さを

水が超えないようにしたもの。平成25年の台風18号では、滋賀県内各地で水害が起き、甲賀市においても信楽や貴



平成30年度に完成の橋脚



架け替えが進む内貴橋の完成予想図

生川周辺等で大きな被害が出た。この時、内貴橋のかかる野洲川でも水位が危険な水域まで上昇した事が、新しい橋の設計に反映されている。

内貴橋の工事は平成28年から用地買収が進められ、平成30年度より工事に着手している。平成30年度は4本の橋脚の内、2本が設置された。全体の完成予定は令和5年度の予定。

議会改革推進特別委員会

さらなる議会基本条例の具現化を

2月8日に委員会を開催

昨年の同委員会では政治倫理条例の制定、タブレット導入によるペーパーレス化に取り組み実施した。次のステップとしては、タブレット導入後、議員活動や議会活

動に有効に活用されているかの検証や、開催方法を変えた議会報告会の結果を踏まえて今後のあり方などが課題。

また、議会の広聴活動として、市民の声をいかに反映させていくのか、ということが議会の責務であり、広聴に取り組むことなど、さらなる議会基本条例の具現化を目指すことを確認した。

開票事務

不正調査特別委員会

2月8日に委員会を開催

経過および現況、第三者委員会の答申、最終答申後の選挙事務改善の取り組み、そして、これまでの委員会での質疑や指摘や提案についての返答などを選挙管理委員会事務局に資料の提出と説明を求め調査を行った。

主に市と選管が3人の弁護士に委託した関係職員への聞き取り報告書の開示について意見が集中したこと。聞き取り内容を確認することにより、事実認定される部分やできない部分が確認でき、当委員会

として検証が進む。そのことにより職員の意識改革や市行政の組織風土の醸成につながると考える。公開できない理由として次のことが挙げられた。

- ・供述内容が一致せず食い違っている箇所がある。
- ・時間が経過しており、記憶の限界の中で答えている部分がある。

- ・その当時に職員が感じた事や推測の部分もある。
- ・公表を前提とした聞き取りでないため公表すべきでないとは判断。

(3月29日付で3人が公職選挙法違反で起訴され、1人は不起訴)

各会派による 代表質問

目次

平成31年 2月27日

平成31年 第1回甲賀市議会定例会代表質問

順番	氏名 (会派名)	質問事項
1	橋本恒典 (凜風会)	1 市長任期折り返した今、自己評価と展望は 2 施政方針及び新年度予算について 3 平成31年度主要事業について 4 衆議院選挙における不適切集計と職員のコンプライアンスと意識改革について
2	森田久生 (志誠会)	1 岩永市長の市政に向かう政治姿勢(スタンス)について 2 市長が掲げた「甲賀のまちづくり政策集」の進捗状況と今後の展望について 3 平成31年度予算編成方針並びに一般会計予算案について 4 当市を取り巻く重要諸課題について
3	田中將之 (公明党甲賀市議員団)	1 SDGsを市政運営に活かすことについて 2 平成31年度予算編成に対する考え方について 3 「いのちを守る」防災・減災について 4 女性・若者・高齢者・障がい者等の活躍推進について 5 子ども、子育て、教育について 6 観光振興について 7 持続可能なまちづくりのために
4	小西喜代次 (日本共産党甲賀市議員団)	1 市民のいのちと暮らし、安全を守る立場から、焦点となっている国政の課題について市長の所見を問う 2 市長任期の折り返し点に立っての評価と課題 3 新年度予算案が市民の切実な願いを実現する予算とするために 4 幼・保学校再編計画について 5 2017年衆議院選挙の開票事務不正処理問題について



高校生からの「議会だよりは難しくてわからない…」の声に応えたい!

代表質問 ・ 一般質問 ってなに？

定例会の中で、議員が市長などに対して、市政運営についてチェック・提案できる重要な議員活動の場です。会派の代表者が質問することを「代表質問」、議員個人が質問することを「一般質問」といいます。毎回それぞれの議員が関心のあるテーマを取り上げて、色々な視点から甲賀市のことを考えています。

一般質問で議員が話す時間の制限は1人30分まで。
たまに時間切れになる人も!?

QRコードから
実際の映像も
見てみてね。



■ 答弁者の凡例

総合政策部長	総政部長	選挙管理委員長	選管委員長	危機・安全管理統括監	危機統括監
産業経済部長	産経部長	市民環境部長	市環部長	健康福祉部長	健福部長
		こども政策部長	こ政部長	農業委員会事務局長	農委局長

公職選挙法メモ

議員は選挙区内に病氣見舞金を出すことが禁止されています。

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



都市機能の集積が期待される真生川駅周辺

凛風会
橋本 恒典

新年度予算提案の市長の所感は



◎まちづくり政策集13項目の自己評価と今後の展望は。

市長 女性の活躍については一定の成果が得られ、教育の充実や文化・スポーツの振興、子育て政策の充実など8分野については各事業が進行中。

全体を通して見ると、それぞれの事業について、全ての事業に着手できていることは一定評価できるものと考えている。

◎残りの任期における展望と市政に対する思いは。

市長 各事業の取り組みは未だ道半ばで、確かな成果を出せるよう、残りの任期をしっかりと取り組んでいく必要があると考えている。

今後の展望としては、残り1年8ヶ月の中で、多くの取り組みにおいて結果を出せるものと考えている。

◎平成31年度予算案を提案するにあたっての所感は。

市長 総合計画に掲げる「あい甲賀 いつもの暮らしに、しあわせを感じるまち」の実現に向けた施策を確実に実施することを念頭に、新年度当初予算を編成した。

◎選挙管理委員会に出された答申に関し市長の見解は。

市長 今回の事象を他人事ではなく全職員自らの事として取り組み再発防止に努めるとともに、継続した意識改革の必要性を再認識した。

志誠会
森田 久生

有利な借金 合併特例債の活用は



◎就任3年目に入った市長の市政に向かう政治スタンスは。

市長 市長就任1年目は「感謝」、2年目は「共感」、3年目の今年は「堅実」をモットーに、「オール甲賀」の体制で市政運営にあたる。

◎市長が掲げた政策集(マニユフェスト)進捗の自己評価は。

市長 小中学校のエアコン設置やトイレの改修、ICT推進等の教育環境の整備、子育て施策や女性が活躍できる仕組みづくり等、一定の成果は表れていると自己評価。

◎有利な借金と言われている合併特例債活用事業について。

市長 発行限度は約44.2億円。30年度末時点の発行総額は約26.9億円。新年度予算では、西部学校給食センター建設事業、信楽地域市民センター整備事業、水口地域保育園整備事業等で約64億円を活用。残り約11.0億円。



総工費68億円の水口本庁舎 その内46億円が有利な合併特例債を活用

◎当市を取り巻く「重要諸課題」として、①甲賀市公共施設等総合管理計画について、②当市の観光推進施策について、③甲賀市地域情報化基盤整備事業について、④市内公共交通の充実について、⑤改正入管難民法施行に向けて外国人労働者への支援強化について、⑥衆議院選挙開票不正事案に対する進捗と今後の動向について、の6課題に関し、市長並びに所管部長に市の考え方を質問しました。



代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

公明党
田中 將之

持続可能な甲賀市を
作るために

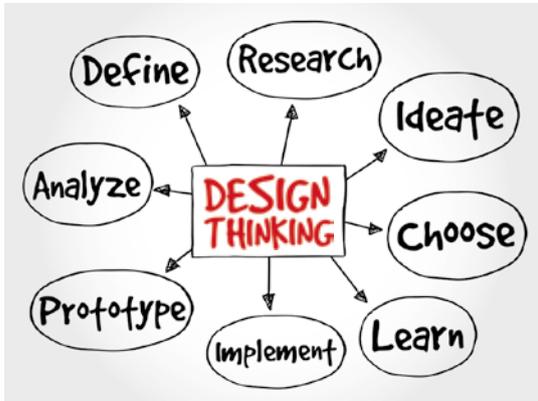


◎ エリアマネジメント、都市経営について市の認識は。

市長 エリアマネジメントとは、「地域における良好な環境や価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み」であり市が掲げる「オーラル甲賀」の考えと共通。今後、人口減少が見込まれる中、一定の行政サービスを維持し、多様化する住民ニーズに応えるには、この考え方を活かし、地域資源を有効に活用し、公民連携による地域経営やまちづくりを包括的に進め、地域の価値を高めることが重要。

◎ デザイン思考を行政にも取り入れてはどうか。

市長 デザイン思考とは、「市民との共感による問題発見」から「施策の迅速かつ反復的な見直し・検証」の一連のプロセス。これまでの行政施策は、一部の市民、事業者の要望や、行政職員の仮説に基づくものも多い。また、行政が一度決定した施策は、継続性にこだ



わり、不平等を恐れ、事業の見直しや改善に消極的となる傾向もある。現在の政策形成プロセスにおいて、いま一度、このデザイン思考の考え方に沿った検証を行うとともに、職員が積極的に「市民の本音」を捉え、施策に反映するために、現場での「トライ・アンド・エラー」を応援する。

共産党
小西喜代次

合併特例債の集中は
将来に負担が



◎ 厚労省の統計不正に対する認識と市政への影響は。

市長 統計は施策の基礎的根拠で重要な役割がある。市政にも影響が生じる事も考えられる。

◎ 新年度予算案が市民の切実な願いを実現する予算となっているか。予算編成の基本的な考え方、及び重点事業とポイントは何か。

市長 「オール甲賀で未来につなぐチャレンジプロジェクト」の3つのテーマに沿った事業を重点的に推進する予算編成とした。

◎ 31年度予算案、新市建設計画と中長期財政計画の見直しは。

市長 健全財政を堅持できるように中長期財政計画を見直した。31年度は市債発行がピークを迎えるが、将来負担比率は中長期財政計画に示す数値内におさまる。

◎ 市内3地域の幼保・小中学校再編検討協議会で存続するとの見識ある判断をされた。受け止めと見直す考えはどうか。

教育長 十分な議論の結果と認

識し、重く受け止めている。再編計画の見直しは考えていない。



幼保・小中学校再編検討協議会で保育園、小学校を存続するとされた雲井小学校

◎ 2017年衆議院選挙の開票事務不正処理問題の全資料の開示は真相解明の前提で、必要な資料の公表を求める。

選管委員長 地方自治法に基づく手続きが必要。開票事務不正調査特別委員会と協議し対応する。

議員は選挙区内のお祭への寄付や差し入れが禁止されています。

17人の市議員が市の考えを問う

平成31年
3月4日・5日・6日

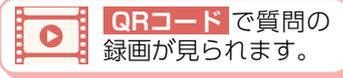
目次

平成31年 第1回甲賀市議会定例会一般質問

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	たなか よしかつ 田中 喜克	<ol style="list-style-type: none"> 1 貴生川駅周辺整備の必要性和甲賀市の将来のまちの姿について 2 甲賀市の学校教育現場の現状と教育の環境について 3 選挙開票不適切処理の検証と市の法令順守の現状について 	9	おかだ しげみ 岡田 重美	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校給食費の無償化を求める 2 (仮称) 甲賀北地区工業団地への産業廃棄物関係企業の進出について 3 安全安心な住まいの提供のため市営住宅の建替えを 4 土山のコミタク運行とコミバスの年末年始の運行改善について
2	えびすわき ひろし 戎脇 浩	<ol style="list-style-type: none"> 1 朝ドラやホストタウンをいかにシティセールスに活かすのか 2 部局横断型課題解決チームのより効果的なあり方について 	10	たなか あらと 田中 新人	<ol style="list-style-type: none"> 1 甲賀市農業の現状と方向性について 2 運動能力の向上について
3	しらさか まりこ 白坂 萬里子	<ol style="list-style-type: none"> 1 入管難民法改正に向けた本市の取り組みについて 2 8年が経過する、自治振興会によるまちづくりについて 3 民間保険の活用で、認知症家族に負担軽減を 4 肺炎球菌ワクチン、丁寧に周知し接種率の向上を 	11	はしもと りつこ 橋本 律子	<ol style="list-style-type: none"> 1 新年度予算(深化予算)とオール甲賀について 2 ボランティアの息づく街づくりを
4	つじ しげし 辻 重治	<ol style="list-style-type: none"> 1 高間みずべ公園の整備について 2 名神名阪連絡道路の促進について 3 甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例について 	12	やまおか みつひろ 山岡 光広	<ol style="list-style-type: none"> 1 高すぎる国民健康保険税の引き下げを 2 子どもに対するインフルエンザ予防接種に助成を 3 重いランドセル・教科書の改善を求める 4 保育園と学童保育所の待機児童の解消を 5 第三セクター「あいコムこうか」の経営健全化方針について
5	ほり いくこ 堀 郁子	<ol style="list-style-type: none"> 1 オープンデータについて 2 SNSでの相談窓口について 3 AED併設のデジタルサイネージの導入について 4 図書館のあり方について 5 学校発ESDについて 	13	たになが けんじ 谷永 兼二	<ol style="list-style-type: none"> 1 開発事業における良好な実施について 2 児童虐待の現状と対策について 3 終活に関する行政による終活支援事業について
6	うかい いさお 鵜飼 勲	<ol style="list-style-type: none"> 1 衆院選での市選管による白票水増し事件について(その2) 	14	つちやま さだのぶ 土山 定信	<ol style="list-style-type: none"> 1 クリーンセンター滋賀の、セレン及び遮水シート破損について 2 児童の道路に関する安全対策について
7	いとめ まさき 糸目 仁樹	<ol style="list-style-type: none"> 1 甲賀忍者を主役にした大河ドラマの実現を 2 障がい者へ配慮ある防災対策・連携体制構築を 	15	たけわか しげくに 竹若 茂國	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童福祉法における障害児支援について 2 子どもの虐待について 3 子ども食堂と子どもの貧困について 4 手話通訳の派遣に伴う費用の負担について 5 甲賀北工業団地について 6 市街化調整区域の空き地、空き家の活用について
8	やまなか しゅうへい 山中 修平	<ol style="list-style-type: none"> 1 家庭ごみの捨て方と回収事業について 2 スマホルールの周知のための通達と広報について 	16	やまなか よしはる 山中 善治	<ol style="list-style-type: none"> 1 人権尊重によるまちづくりを問う
			17	おがわ ふみと 小河 文人	<ol style="list-style-type: none"> 1 歴史文化を生かした観光まちづくり 2 幼保小中学校再編計画について

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



田中 喜克



Q 貴生川駅周辺整備の実現は
A 目標年次2040年に

Q 駅周辺都市づくりで目指す町の姿と必要性は。

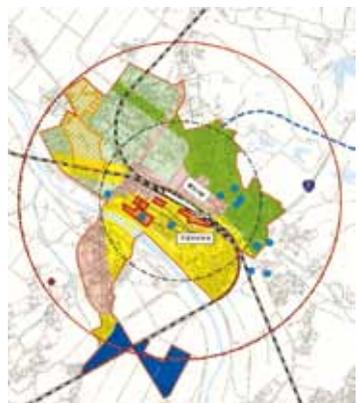
総政部長 貴生川駅周辺が持つ、市外への人口流出を留める「人口ダム」機能を更に発揮させると共に、経済的に周辺地域を牽引する「特区」にする。事業手法も官民連携による民間活力の導入を視野に進める。

Q 整備区域と整備施設は。

建設部長 整備区域は駅を中心に半径800m。北側の丘陵地、南側柚川も越えた区域の連携整備も必要。商業施設やホテル等の市外の住民を呼び込み滞留させる交通結節点としての施設整備をする。

Q 構想実現に向けた思いは。

市長 駅周辺整備は近畿圏の東の玄関口、その重要性と合わせ甲賀市発展の最重要施策、オール甲賀で集中的に取り組む。



貴生川駅周辺整備計画予定



戎脇 浩



Q シティセールスの重要性は
A 市民も発信者となる施策を

Q NHKの朝ドラ、2020東京オリパラにおけるシンガポールのホストタウンなど、我が甲賀市を売り込む絶好のチャンスと考える。

Q シティセールスに朝ドラをどう活かすのか。

産経部長 信楽だけでなく全市的なロケ地を周遊する体験型観光の推進やロゴを活用した商品開発などを推進し、また一過性に終わらせない仕掛けづくりに取り組む。



信楽焼展示

Q ホストタウンはスポーツだけではなく、経済・観光面で活かす必要があるのではないか。

産経部長 シンガポールでの観光ブースの出展やバイヤーの招聘などにより、多様な観点での交流を推進する。

Q 全職員の意識向上の必要性は。

市長 職員が部局横断で取り組むことを通して、市民がまちに誇りを持ち、自ら発信者となっていただけのような仕掛けづくりが重要であると考える。



白坂萬里子



Q 認知症家族に民間保険で負担軽減
A 保険制度について鋭意研究

Q 徘徊する認知症高齢者の事故リスクや、介護家族の負担軽減とする為、民間保険を活用した支援を提供しては。

市長 市としてもできる限りの支援が必要と考えるが県内での取り組みはまだない。今後認知症高齢者の増加と共に注目される取り組みと思うので提案いただいた保険制度を鋭意研究していく。

Q 厚労省は肺炎球菌ワクチンの定期予防接種を5年間延長すると決定。その理由の一つに周知が不十分との声があることから、本市の接種率向上に向けた今後の計画を問う。

健康部長 平成30年度の対象者は5361人に対して12月末で2081人の38・8%。このことから更に、周知啓発を丁寧に取り組み個別通知や再度の勧奨を検討していく。

その他、「入管難民法改正に向けた、本市の取り組みについて」「8年が経過する、自治振興会によるまちづくり」について質問しました。



後援会が選挙区内に花輪・香典・祝儀などを出すと処罰されます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



辻 重治



Q 高間みずべ公園の整備は
A 随時改修を行う

Q 高間みずべ公園は水と緑豊かな水辺空間の創造をめざして整備された公園である。施設の改修と利用促進及び周辺整備の状況を伺う。

建設部長 施設の

中で危険性の高い箇所を優先し補修を行う。また、期間中の管理は2人体制で安全管理を行う。

市長 砂防ダムなら

ではの学習で、大雨体験機があるが、大量の水道水とポンプ、音響設備などの不具合は慎重な検討が必要。

教育長 水質の安全なことから青少年の野外

体験活動等に有効活用する。

産建部長 周辺環境は、地元生産森林組合が造林事業など活用し、良好な森林環境が保たれている。

その他、「名神名阪連絡道と重要物流制度事業との関連促進」おもてなし条例関係について質問しました。



堀 郁子



Q 「LINE相談窓口」を導入しては
A 他市の状況や有効性を調査したい

Q 中高生や若者対象にLINEで相談窓口を設置して、イジメ相談や恋愛、性の問題のガールズ相談、子育て相談をしてはどうか。

教育部長・こ政部長 他市の状況を研究する。

道路の改善要望もLINEで受けては。

建設部長 調査し検討する。

緊急時の情報収集もLINEで受けては。

危機統括監 研究する。

Q 公民連携して地域の活性化を図るため、市の色んな情報をオープンデータ化しては。

総政部長 市民が求めるオープンデータ化が何か、費用対効果を見極め研究する。

Q 図書館で持込勉強が出来たり、コーヒーを飲みながら読書が出来るようにしては。

教育部長 今後の新しい図書館運営方法の参考にしたい。

Q 子ども達の生きる力を育てるため、教科横断的に学んだり、主体的対話的な学習が出来るESDを取り入れてはどうか。

教育長 市もESDの

理念を反映している。



鵜飼 勲



Q 衆院選での白票水増し事件
A 確実性のある情報を公開していく

Q 第三者委員会からの最終報告に対する所見。
市長 全職員に法令遵守の意識付けを徹底する。

Q 職務命令により自宅待機を命じている関係職員に対する給与未払いについて違法性が指摘されている所見。

市長 当事者が自ら出頭し事実を認めている、退職願いが提出され勤務実績がない、さらには道義的見解、市民感情に鑑み総合的に判断した。

Q 弁護士が関係者から聞き取った報告書が、当初の公開から一転非公開となった。市民が納得できる説明責任に対する所見。

市長 何かを隠そうとか、市民の皆様方に都合の悪い情報が載っているのでは決していない。

Q 副市長が投票日の数日後に不正を知っていた可能性があると報道に対する所見。

副市長 不適正事案を認識できる相談・報告はなかった。

告はなかった。



甲賀市選挙事務不適正処理再発防止委員会

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



糸目 仁樹



Q 甲賀忍者主役の大河ドラマ実現を
A 民間・市民の盛り上がりが必要

甲賀忍者が活躍したとされる鉤の陣題材の大河ドラマを実現し、甲賀忍者を広く発信出来ないか。同題材で小説も発売された。NHK「まんぷく」の効果は大きく、モデルの即席麺の売上が過去最高に。今秋の「スカーレット」に続いて期待したい。

市長 「スカーレット」で得た繋がりは大切。紹介の小説は熟読し、栗東・湖南市長にも勧めた。ただ、行政主導誘致よりは、民間・市民の盛り上がりが必要です。議員の協力も欲しい。
Q 災害避難に障がい者へ配慮が必要。(オストメイト事例紹介)必要物資や要配慮者情報を医師、訪問看護師、薬剤師等と平時の情報共有体制を構築できないか。

危機統括監 大災害時に甲賀保健所内に地域保健医療拠点が設置され市も参画。ここで情報共有され要配慮者への必要物資が供給可能になる。



鉤の陣を題材にした小説「神遊の城」



山中 修平



Q 家庭ゴミ回収事業のあり方は
A 社会の変化を見据え充実を図る

Q 生ゴミ堆肥化事業の現状は。

市環部長 平成29年の参加は9051世帯で、2年前より多いが、物量は13000トンで、83%に減っている。登録はするが生ゴミを出さない世帯が増えており再検証する時期にある。

Q スプレー缶は穴を開けなくてもよいのか。

市環部長 安全な回収方法に改善したので開けなくてもよい。パッカー車で圧縮回収する燃えるゴミに混ぜないように要望する。

Q 分別したゴミの再利用や最終処分形態は。

市環部長 ペットボトルは卵のパック等に、プラスチックは固形燃料に、発泡スチロールは建設資材等に、牛乳パックは紙製品に、食用油はディーゼル燃料に、乾電池と蛍光灯は埋立処分する。

Q ゴミ袋への記名の見解は。

市環部長 強制はしないが、貴重品や危険物の誤入時の連絡のため、小さな字で書いて頂いてもよい。



小さくとも記名が望まれるゴミ指定袋



岡田 重美



Q 学校給食費の無償化を求める
A 引き続き慎重に研究をしていく

Q 全国の自治体で学校給食費の無償化が広がっている。本市も無償化に踏み切るべき。

市長 財源の確保とともに、市全体の中で幅広く検討する必要がある。引き続き研究していく。

Q (仮称)甲賀北地区工業団地へ産廃業者の進出希望があるが、地元自治会では反対の意思表示がある。地元の声に対する認識は。市は事業に責任を負う立場、傍観していないのか。

建設部長 特定の企業の進出における事業に対する反対と考える。事業実施者である土地区画整理組合の意向に沿って対応する。

市長 企業の方針は組合が決定すること。違法行為には対応する。

Q 老朽化した市営住宅は、住み替え推進でなく、建て替えをするべき。

建設部長 建て替えの方針については、国の公営住宅に対する動向を注視し、老朽化した多くの市営住宅に対応していく。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



田中 新人



Q 農業競争力強化支援法は

A 資材価格引下げや流通等合理化

Q 水田フル活用を通じた水田農業の振興取り組みは。

産経部長 麦・大豆等の高品質化やトマト、ネギ、人参、玉ネギなど重点作物を定め野菜等の産地づくりと、飼料米への支援を行っている。31年産の農業政策支援は。

産経部長 転換作物拡大加算は引き続き継続。緊急転換加算は、平成31年度に限り加算。戦略作物助成や産地交付金は継続支援である。

Q 農業競争力強化支援法について伺う。

産経部長 農業者が自由に経営展開できる環境を整備し、農業資材価格の引き下げや流通等の合理化を推進するものである。

Q 子どもの体力向上で外遊びの推奨と啓発を。

教育部長 幼児期、児童期に多くの友達と関わり、自ら遊び、多様な動きを経験できることは重要で、保育園や幼稚園、小学校、総合型スポーツクラブ等と連携し保護者への啓発に取り組む。



練習に励むスポーツ少年団



橋本 律子



Q 合併特例債活用では確かな検証を

A 市民との対話で事業精査する

Q 合併から15年目、合併特例債事業の成果と一定の目途を迎えるところだが、今後の考え方は。

総政部長 老朽化した施設整備は長年の課題。有利な財源を教育環境等の施設改修・防災拠点となる庁舎建て替えの市勢発展の事業実施。活用できないと財政圧迫となる。市民との合意形成を図っていく。

Q 期限延長による計画変化と財源の考え方は。

総政部長 必須の財源と認識。5年延長による事業精査が必要と考える。限度額総額は442億7880万円。将来を見据えた活用へ。

Q 公共施設等総合管理計画での削減目標は。

総政部長 40年間で総床面積の30%を削減目標とし、最適化へ。

その他の質問

①オール甲賀の視点で公民連携。

②ポランティアの息づくまちづくりが必要。



5月18日竣工の市民活動センター「まる一む」(合併特例債事業)



山岡 光広



Q 高すぎる国保税、引き下げを

A できる限り負担を軽減する

Q 所得に対して国保税が高すぎると思うがどうか。子どもにかかる均等割軽減を。県が示した標準保険料額は18市町が引上げとなっているが、これ以上の負担増は家計を直撃する。少なくとも現行据え置き、引き下げすべき。

市環部長 負担率は高いと認識している。決算剰余金や基金の活用を検討してできる限り負担を軽減するよう努力していく。

Q 文科省からも改善の通知が出されている「重い」ランドセル。例えばランリュックにするとか、教科書や教材のあり方も改善すべき。

教育長 昨年9月の通知以降、持ち帰るものと置いてよいものを区別し職員で確認するなどの工夫している。市内小学校では、ランリュック推奨7校、ランドセル推奨が3校、どちらでも可が11校。児童に過度な負担を強いることのないよう各学校に指導していく。





一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



谷永 兼一



Q 児童虐待をなくす取り組みは
A 関係機関連携や地域全体での支援

Q 本市家庭児童相談室での虐待件数と傾向は。
ご政部長 平成29年度は450件と年々増加している。また、虐待種別としては、心理的虐待が増加している傾向にある。

Q 一つ一つの小さな兆候も、関係機関の情報を一元化すれば重大な事例の発見につながる。助けてという子どもの声を受けとめ、犠牲になる子どもを無くさなくてはならない。相談件数が増加している等の現状に関しての所感。
市長 要保護児童対策地域協議会での個別ケース検討会議において、関係機関と連携を図り、一人ひとりにきめ細やかな支援対策を行っている。今後も引き続き、子どもたちの生命の安全を第一に据え、関係機関、地域の民生児童委員・主任児童委員のみなさまなど連携を密にし、地域全体で支えながら、支援していくことが虐待のない社会をめざす上で重要であると考えている。



土山 定信



Q 児童の道路に関しての安全確保は
A 関係機関と協議して進めていく

Q 学校施設の間を一般車両が通る道路はどうしても子どもたちが横切る必要が多くあり、12月議会の一般質問において、安全について関係機関と協議すると答弁があったが、その後の進展について問う。
教育部長 滋賀県公安委員会に問い合わせたところ、スクールゾーンの表示をすることができるところを確認したので、具体的な方法について、関係機関とより良い方向で進めていく。

Q 土山小学校横のバス停からの通学路は、歩道は狭く、水が溜まっていると、前回質問した対応について再度聞く。
教育部長 安全の為に、国道一号横の歩道整備が必要であると認識している。滋賀国道事務所に要望したところ、前向きな検討をするという聞いており、今後関係機関と通学路の安全について協議していきたい。



市内5か所ある、学校施設内を横切る道路



竹若 茂國



Q 地元不同意甲賀北工業団地を問う
A 地域の未来につながるよう支援

Q 地元は工業団地は必要ないと反対を表明、市はこれをどのように受け止めているのか。
建設部長 早急に地元が調整され、市は事業が進むよう対応する。

Q コミュニティが壊れそうな状態にある。このまま進めるつもりか。
市長 市としても重要な事業であり、しっかりと事業支援を行う。



(仮称) 甲賀北工業団地予定地

Q 「健康課題を抱えた児童」のデイサービス利用日数を増やしてほしいとの声があるが。
健康部長 保護者や利用者の意向を大切に利用計画を作成する。

Q 「こじか教室」の利用日数を増やせないか。
ご政部長 2020年度以降、甲南第一市民センターに移転時に週2回の方向で考える。

Q 市街化調整区域の空き地、空き家の活用を。
建設部長 一部規制緩和により効果が出ている。これからも空き地、空き家の活用を進める。

市長 持続可能な「いつもの暮らしにシッアワセ」を感じるまちになるよう施策に工夫をこらして進める。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



山中 善治



Q 人権尊重によるまちづくりを問う
A 自主的な学習の機会を提供する

Q 需要と供給の原則により価格決定される市場経済において、社会的、心身の弱者への配慮がおろそかにされる傾向にある現状を「市場の失敗」と表現されるが、認識を問う。

産経部長 経済的な「公平性」が達成されないことから社会問題や格差社会が発生するとも言われており、競争市場に不向きな人々に配慮したルール作りが重要と考える。

Q 人権尊重によるまちづくりを問う。

市環部長 平成28年3月実施の「人権に関する調査」では、様々な人権の問題が、社会的弱者とされている少数者だけの問題にとらえられ、社会全体で支えていく実践力が充分に育っていないという傾向が見られた。そのため、人と人との繋がりを大切にしながら、自分のこととして考え、行動に移せるよう人権教育啓発を進める。



人権に配慮した障がい者用駐車場候補地 2区画約300万円



小河 文人



Q 再編計画と公共施設管理計画は
A 教育施設も聖域ではない

Q 再編検討協議会の答申を受け、今後の再編計画(統廃合計画)の変更はあり得るのか。

教育理事 再編検討計画の変更については考えていない。各地域からの意見を尊重し進めたい。

Q 再編を先延ばしする事による影響は。

教育理事 少子化に向かい、園および学校の小規模化が進み教育環境の地域格差が大きくなる。施設整備には国の補助が少なく、延長された特例債を有効に活用していきたい。

Q 耐用年数が過ぎた学校施設の対応について。

教育理事 公共施設管理計画で示す市内5校が建て替えの目安を過ぎ、老朽化が進んでいるので順次対応していく。

Q 過去の答弁から「統廃合計画と公共施設管理計画は一体ものである」と発言しているが学校施設も例外でないと考ええるが。

総務理事 財源が伴う以上、再編計画と公共施設管理計画はリンクしている。



築45年、甲賀市内で一番古い信楽小学校

会派構成が変わりました

2月8日付けで無所属クラブの奥田宏嗣議員が辞職したことから、会派構成が次のとおりとなりました。凜風会9人、志誠会6人、公明党甲賀市議団3人、日本共産党甲賀市議員団3人、無党派2人の23人。

甲賀広域行政組合議会

平成31年第1回定例会 3月26日

平成31年度一般会計当初予算総額36億6千万円)及び働き方改革法案の施行に伴う条例の制定などについて、全員賛成にて可決しました。

31年度一般会計当初予算が前年度より4774万円の減額となっているのは、主に市税の滞納繰越分の整理に関する事務の廃止と、衛生関係の維持補修費が減少したことによります。

また歳入では、構成市の負担金として、甲賀市は全体の65・4%の19億600万円を負担します。また市指定ゴミ袋の販売で、1億5300万円の収入を見込んでいます。

31年度一般会計予算に対しては、10月からの消費増税分の見込みについて、指定ゴミ袋収入の積算根拠や仕入れ単価及び販売手数料について質問がありました。

一般質問では、山岡議員らから消防力整備基本計画、消防音楽隊、消防職員の健康管理、甲賀広域行政組合の今後について等質問がありました。

地方独立行政法人 甲賀病院へ

公立甲賀病院組合議会

平成31年第1回定例会
3月26日

4月1日設立の「地方独立行政法人化を見据えた一般会計予算他4議案が上程、慎重審査の上、可決いたしました。

平成31年度公立甲賀病院組合一般会計予算の議決について

法人化後は病院事業会計が組合議会の議決案件ではなくなり、会計処理が大きく変更します。十分な説明を求めた後、全員賛成にて可決しました。

平成30年度公立甲賀病院事業会計補正予算について

法人化の前に、新病院建設時の余剰金の清算を両市に行うこと。また入院患者の減少等に伴う歳入歳出の減額を行うもの。

質疑では、入院患者数、診療単価の減少の要因等を問い、医療基準の変化等が主な要因との答弁。その他法人化のための条例改正を含め、全5議案を採決の結果、全員賛成にて可決しました。

平成31年第2回臨時会
4月1日

正式に法人設立となり、臨時会で今後の病院の目指すところを記した「中期計画」を認可。今後議会は本計画の進捗の報告を受け、審査を行います。

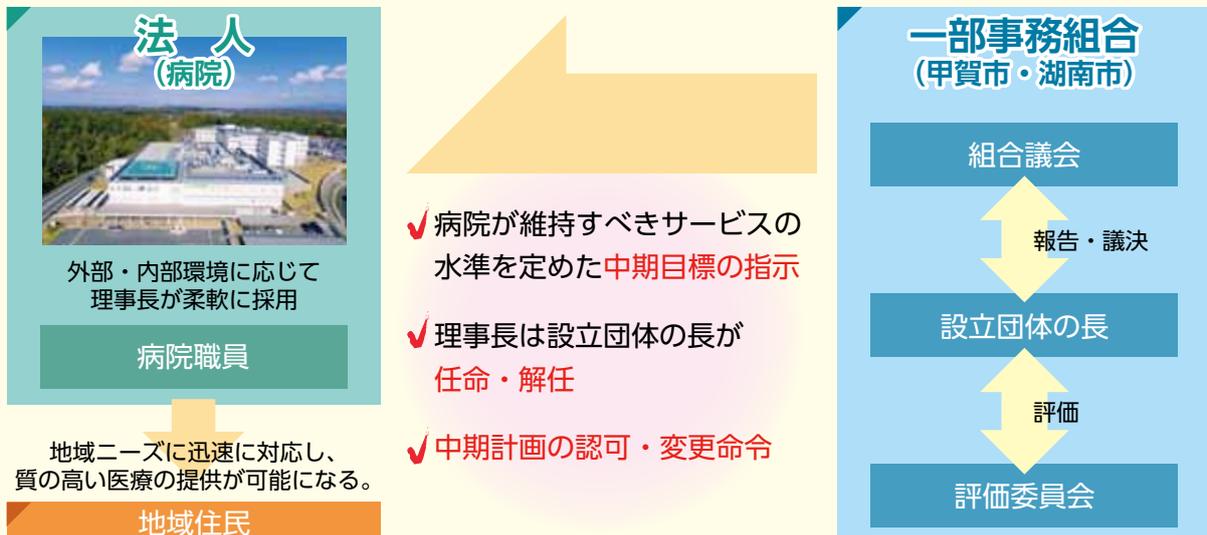


地方独立行政法人の除幕式

地方独立行政法人に移行することで、迅速な意思決定や柔軟な職員確保によって多様化する地域ニーズへの迅速・的確な対応が可能になります。

法人化後はこれまで実施してきた医療を継続するとともに、経済性優位な運営にならないよう、設立団体の長は法人に対して中期目標の指示や理事長の任命・解任権等を保持し、法人運営を掌握します。

地方独立行政法人化後の行政における法人ガバナンス体制



地方独立行政法人公立甲賀病院への組織変更のイメージ

あなたとつなぐ

市議会議員紹介

Vol.4

市民のみなさんに市議会議員をみぢかに感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をクローズアップしていきます。

たけ わか しげ くに
竹 若 茂 國 甲南町在住



- Q 議員を志したきっかけは？
当時の市施策実行に疑問を持った。
- Q 議員になって感じたことは？
本来議員にあるべき自由な議論が閉ざされている。
- Q 議員活動する中で特に意識しているところは？
常に生活者、働く仲間の思いを大切にす。
- Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？
分け隔てなく機会があればご意見をお伺いする。
- Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？
甲賀市内の美味しいお蕎麦屋さん巡り。

た なか よし かつ
田 中 喜 克 水口町在住



- Q 議員を志したきっかけは？
このまち甲賀市で39年余り勤め、このまちが好きだから。
- Q 議員になって感じたことは？
立場が変わって、「行政の目線」と「議員からの目線」の違い。
- Q 議員活動する中で特に意識しているところは？
選良の立場を与えられ時間を経ても、謙虚さを忘れぬように。
- Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？
全ての事柄に参加して、住民と共に汗をかき、涙し、喜びたい。
- Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？
日本真鍮の元祖・山上庚申山。ビールの発祥地、牛飼・総社神社。

編集後記

▶新緑がまぶしい心地よい季節となりました。▶今年のゴールデンウィークは改元ともない10連休です。有意義に過ごしたいものです。▶連続テレビ小説「スカーレット」の撮影がはじまりました。「スカーレット」は緋色、炎の色とされています。情熱的なドラマになりそうですね。▶信楽高校と水口高校の生徒会の皆さんに、議会だよりやまちづくりについて、たくさん意見をいただきました。明るく元気な皆さんと交流ができ、広報委員にとっても、大変貴重な時間となりました。ご協力ありがとうございました。若い皆さんにも「手に取ってもらえる」「読みやすい」紙面づくりに努めていきたいと思ひます。
(広報特別委員 岡田重美)

議会の傍聴にお越しください！

本会議委員会は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。

6月議会の予定

6月6日 10時～	本会議(第1日)議案上程・提案理由説明
6月14日 10時～	本会議(第2日)議案審議
6月17日 10時～	本会議(第3日)一般質問
6月18日 10時～	本会議(第4日)一般質問
6月19日 10時～	本会議(第5日)一般質問
6月20日 10時～	本会議(第6日)一般質問
6月21・24・25・26日 9時30分～	委員会
6月27日	委員会予備日
7月1日 10時～	本会議(第7日)最終日

6月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
7月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

カメラの



特集にあわせて高校生の元気な姿を表紙にしました。撮影当日は寒風が吹きましたが、高モニ会議の活発な意見交換の雰囲気写ったと思います。表紙を見て、手にとって、中身を開く人を少しでも増やしていきたい。幅広い年齢層に読んでもらいたい。特に今回は若い世代にアプローチしました。この表紙を開いて中身を読んでもくれる人が増えたかなあ。まだまだ伸び代があると感じています。私たち広報特別委員会は情報発信していくだけでなく、幅広く耳を傾けていきます。



(写真撮影：里見淳委員)